



Japan Sporting Equipments Retailers Association

No. 74

編集/発行:日本スポーツ用品協同組合連合会
〒111-0053 東京都台東区浅草橋5-8-6
東京スポーツ会館 301号室
☎ 03-5829-6490 FAX 03-5829-6491
ホームページ <http://www.jsera.jp/>
E-mail jsera@jsera.jp

(2015/8~2016/7のスローガン)

広げよう絆 深めよう組織力!



今こそ「三層」協調!

JSERA・日本スポーツ用品協同組合連合会

理事長 重森 仁

皆様、如何お過ごしでしょうか。先日のJSERA 総会、全国大会に多数ご参加いただき、ありがとうございますございました。また中村法道長崎県知事様、朝長則男佐世保市長様はじめ、多数のご来賓の方々のご臨席を賜りましたこと、嬉しい限りです。主管の九州ブロック、森理事長始め長崎県組合の方々の熱意により素晴らしい大会になりましたこと、心よりお礼申し上げます。収入減による赤字対策、会員増強など多くの課題も浮かび上がりましたが、女性部立ち上げなど明るい話題もありました。詳細は、別ページに譲りましてまずは、関係各位にお礼申し上げる次第です。懇親会の余興で披露された「よさこい」、その踊り手集団はそれほど若いと言える団体ではなかったのですが、踊り出すとその迫力に圧倒されました。そして踊りの進行とともにより若く、より美しく見えてきます。体を動かすことが双方をこんなにもビビッドにさせるのかと改めて感心しました。

さて、ラグビーワールドカップ、東京オリンピック・パラリンピック、ワールドマスターズゲームス等々、国内で開催されるビッグイベン

トを前に、多くの人々にスポーツマインドの高揚が広がりつつあります。我々はこの機会を千載一遇のチャンスと捉え飛躍の機会にしなければなりません。それは個々の大会を盛り上げビジネスチャンスとするだけでなく、これらをテコとして、将来にわたってスポーツが発展する土壌を作りあげていきたいものです。

このような状況の中、我々を取り巻く商環境はますます不透明さを増しています。たとえば、大手のメーカー様の中には世界と戦うためと会社の構造改革を断行しています。中小零細企業にとっては、不安な毎日を過ごす事態になっています。とはいえ、落ち込んでいても、周りの流れは止まりません。グローバル化が避けられない今日、自らを見失わない冷静で前向きな経営が求められることでしょう。これから日本においても英語教育が進むことでしょう。そうなれば、「ネットの売買において、日本人が海外サイトを利用する機会も増え一段とグローバル化する」と指摘する人もいます。ネットによる売買を好む人たちは一定数存在するでしょう。その人たちにとって海も国境線もなき物に近づ

いていくことでしょう。

一方で、店で手に取って確かめたい人、セキュリティに不安を感じる人たちなどにとっては、地域スポーツ店はなくてはならないものです。また、今、欲しい物はネットでは間に合いません。スポーツ用品が日本全国に、タイムリーに行き渡り、全国各地でスポーツが楽しめるには、地域スポーツ店が大切な一端を担っているのです。

大型店との競合はありますが、大型店にないきめ細かいサービスや様々な工夫により存在感はさらに増すことでしょう。

今、本屋さんも我々と同じような運命を背負っていると言われています。北海道のある町では、大型店が出店し、地域の本さんはなくなってしまいました。その後、大型店も撤退し、本屋が1軒もなくなり、住民が困っていましたが、最近、市民の手で本さんをオープンさせたとの報道がありました。これにかかわった一人は、「本さんで知らない本を手にとるとワクワクする。私にとって大切な場所です。」とおっしゃっていました。子供たちが、グラブに触れてワクワクしたり、綺麗なラケットを見て、目を輝かせる光景と符合します。われわれの店は、地域のスポーツ文化の発展にはなくてはならないものと自負したいものです。

かかる状況の中、私は敢えて、「三層の協調」を強調したいと思います。この度の大手メーカーの大改革には、私は

「日本の地域の販売はその地域の小売りに任せます。そこで卸さんと協力してやってください。私たちにはそこまで手が回りませんし、そのような立場に立つものではありません。」

とのメッセージを読み取ります。

JSERA は卸組合様と組み、各都道府県組合と連携して児童養護施設にボールを贈り続けて

います。各都道府県組合はJSECの枠組みで協調して売店活動に取り組み、全国大会を盛り上げて参りました。次年度より「スポーツを安心してできる場」を構築するための講習会を、経済産業省の指導の下、JASPO（用器具部会）様と協力して「スポーツ用器具管理アドバイザー制度」として方向性を明確にして、推進してまいります。また、個々の組合員は、接客の能力や専門性を高めたり、特徴ある店づくりや外商に日々邁進しています。今後は、さらに卸さんと強力なタッグを組みメーカーさんと連携して全国の隅から隅まで健全なスポーツ店を繁栄させていけるものと確信します。

三層協調とはなんでしょうか。私は「メーカーさんはメーカー、卸さんは卸、小売りは小売り」の領分をわきまえることが原点かと思います。スポーツ業界が末永く繁栄する道は、三層のそれぞれが本来の立場に立ち返ることといえれば的外れでしょうか。「三層協調」、そして「小売りの領域は小売りに、地域での販売は我々小売りに任してください」と切にお願いしてペンを置きます。





Japan Sporting Equipments Retailers Association

日本スポーツ用品協同組合連合会

第16回定時総会 2015年長崎県(ハウステンボス)大会ご案内

【会場】 ホテルヨーロッパ(レンブラントホール)

タイムスケジュール

平成27年
10月22日(木)

定時総会・全国大会

- 9:30~10:30 JSERA 理事会
- 11:00~12:15 レディスフォーラム(午前の部)
- 12:00~12:30 受付(組合員)
- 12:30~14:10 総会
- 13:30~14:30 受付(来賓・メーカー・卸)
- 14:30~15:30 式典
- 15:30~15:40 <休憩>
- 15:40~17:00 研修会 「好きなまちで、働く女性も一緒に挑戦し続けよう」
(有)タケモト 代表取締役社長
講師 佐世保市商店街連合会 会長 竹本慶三氏
させほ四ヶ町商店街協同組合 理事長
- 17:00~17:10 <休憩>
- 17:10~18:10 講演会 「夢持ち続け日々精進」
講師 (株)ジャパネットたかた前社長 高田 明氏
現 株式会社A and Live(エ-アソドライブ) 代表取締役
- 18:15~19:05 レディスフォーラム(午後の部)
- 19:10~21:10 三層懇親会

◆二次会佐世保市内までホテルバスにてお送りいたします。お戻りは各自タクシーにてお願いいたします。

平成27年
10月23日(金)

観光 自由 ハウステンボス等散策をお願いします。
1 DAYパスポート等を事前にお申込の場合は
総会受付にてお渡しいたします。

三層親睦ゴルフコンペ

- 7:00 ホテルロビー 出発
 - 7:30 佐世保国際CC 集合
 - 8:03 スタート 佐世保国際CC (直接ゴルフ場へお越しの方は7:30までにご集合ください。)
 - 14:30 終了
 - 15:00 ハウステンボス駅 解散
- ※コースプレーはスルーにて行い終了後、食事・表彰式・お風呂の予定です。
<佐世保国際CC> 長崎県佐世保市口の尾町 1589
TEL: 0956-30-7111

第16回定期総会長崎大会を開催して



長崎県スポーツ用品協同組合

理事長 森 彰 夫

長崎県で開催した第16回定期総会全国大会で関係各位のご来賓また、北は北海道から南は沖縄まで全国各地の皆様をお迎えし無事に終えることができほっとしております。「ようこそおいでいただきました！！」本当にありがとうございました。

さて、今大会の開催にあたり準備運営についてふれさせていただきます。まずは会場の確保です。全国からの大勢のお客様を収容する会場や交通アクセス面を考慮した結果、今や人気エンターテインメント施設の「ハウステンボス」を選定したのですが広い敷地のため誘導の人員確保や研修会

場確保、宿泊施設の確保に苦慮しました。次に研修・講演者の選定です。我々のビジネスに直結したコンサルタント等様々な方が候補に挙がりましたが、長崎の地元でご活躍のエネルギーギッシュかつポジ

ティブな方に我々を元気にしていただきたいとの思いで多忙極めるお二人にお願いしました。第1部は、させば四ヶ町商店街協同組合理事長の竹本慶



させば四ヶ町商店街協同組合理事長 竹本 慶三氏





株ジャパネットたかた
前社長 高田 明氏

三氏、第2部は、株式会社ジャパネットたかた前社長の高田明氏にご講演いただきました。おふたりのお話を拝聴し、常に前向きに「今」という時間を意識して生きること、そしてやり続けることの大切さ

を感じ、改めて力が湧き出てくるような感覚を覚えました。

大会を終えた後日、高田明氏よりお手紙をいただきました。今回の講演に際し、皆さんの熱い視線や思いを受け高田氏が逆に刺激をいただいたとの内容でした。我々も同志であるというお言葉の中に目配り、気配り、心配りの気持ちを大事にされている事に重ねて感銘を受けたところです。

意見交換の場でもある夜の懇親会も大変盛況に終わりました。メーカーや卸、県内外の小売店の仲間と接する事で情報を交換し、素晴らしい交流

の場になったのではないかと考えております。

運営においてはJSERA本部職員の皆様から丁寧にご指導していただきました。そして九州ブロックの皆様からもご尽力いただき、大変スムーズに進めることが出来ました。長崎県の組合員の皆様には準備から運営にわたり大変なご協力をいただきました。大会の開催を通じて一致団結したことが何よりの財産でした。ご協力いただきました皆様に重ねて感謝申し上げます。

今大会の開催にあたり苦勞することもたくさんありましたが、今後の皆様の経営のお役にたてたのならば幸いに存じます。と同時にこのような機会をいただけて本当に感謝申し上げます。

最後になりますが、皆様の今後ますますのご活躍と来年の和歌山大会が盛大に開催されますことご祈念申し上げます。



感謝状贈呈・功労者表彰名簿

◎ 感謝状贈呈

NO.	行 事	年度	組 合 名	理 事 長
1	国民体育大会	27	和歌山県スポーツ用品小売協同組合	瀧 本 明 生
2	全国高校総体	27	和歌山県スポーツ用品小売協同組合	瀧 本 明 生
		27	滋賀県スポーツ用品協同組合	中 島 一 登
		27	京都運動具商協同組合	相 根 正 人
		27	大阪スポーツ用品専門店協同組合	岸 田 昌 雄
		27	兵庫県運動用品商業協同組合	本 川 和 子
		27	奈良県運動用具小売商協同組合	辻 川 準 一
3	全国中学校体育大会	27	北海道スポーツ用品小売商組合	村 住 俊 幸
		27	青森県運動具商協同組合	福 士 大 二
		27	岩手県スポーツ用品専門店協同組合	八 森 辰 雄
		27	宮城県スポーツ用品協同組合	早 川 純 一
		27	秋田県スポーツ用品商業協同組合	吉 田 隆 久
		27	山形県スポーツ用品小売商業協同組合	渡 部 政 雄
		27	福島県運動具商業協同組合	渡 辺 恭 一
4	JSERA 全国大会	26	石川県スポーツ用品協同組合	甲 秋 水

◎ 功労者表彰

NO.	所 属 組 合 名	氏 名	店 名
1	神奈川県運動具商協同組合	高 倉 元 彦	(株)カワブチスポーツ
2	新潟県スポーツ用品小売協同組合	湊 谷 茂 彦	(株)ファイブスポーツ
3	石川県スポーツ用品協同組合	吉 田 直 司	吉 田 司 (株)
4	福井県スポーツ用品協同組合	北 野 修 一	(有)カナヅスポーツ
5	静岡県スポーツ用品商業協同組合	鈴 木 幸 男	(株)スズキスポーツ
6	京都運動具商協同組合	山 本 秀 樹	ビーウェイ (株)
7	大阪スポーツ用品専門店協同組合	芝 真 宏	(有)シバスポーツ
8	奈良県運動用具小売商協同組合	中 村 卓	マルナカスポーツ店
9	鳥取県運動用具商協同組合	土 井 博 之	(株)土井スポーツ
10	岡山県運動具商協同組合	横 田 耕 治	(株)横田運動具店
11	愛媛県スポーツ用品小売商組合	石 田 治	(有)イシダスポーツ
12	長崎県スポーツ用品協同組合	松 原 究	(有)マツバラスポーツ
13	大分県スポーツ用品協同組合	末 弘 平 八	スエヒロスポーツ

2015JSERA 長崎大会レディスフォーラムを終えて



JSERA・日本スポーツ用品協同組合連合会

レディス部長 吉田留美子

大会前日、札幌を旅たつ時の服装は、ダウンジャケットを身にまとい長崎空港に降り立ったときは、汗ばむ程の陽気。かなりの温度差に体が反応しつつも 30 数年振りの雲ひとつない長崎の空に感動！

さて、今回からレディスフォーラムは JSERA の活動として行われることとなりました。全国の頼りになる女性組合員 3 名と私の 4 名で行動開始。

夕方に集合して明日の打ち合わせ。役割分担を決め時間の配分に悩みながらもチームワークで乗り切ろうということになりました。

当日は、長崎県からもたくさんの方が参加して頂き 26 名の女性達で大変盛り上がる事が出来ました。ただ来年に向けての課題も多数あり今後どのような活動をしていけばいいのか皆さんの意見も参考にしながら考えていこうと思います。

今回参加された方の意見を簡単に載せてみました。

- ・店頭の活性化として掲示板を目立たせチーム募集やインフォメーションを張り出すことで来店促進に繋がっている。
- ・お客さまへのサービス高校生の子供の遅い部活帰りの対応として朝 9 時から夜 10 時迄営業。
- ・大会などで選手の写真を撮って店内に展示しています。
- ・事業展開として商品の販売だけではなく刺しゅう加工、デザインに力を入れる事業形態に変えている。

まとめとして、スポーツを通して健康なお客様と関われる事の幸せ、そして私たちの商売の素晴らしさを改めて感じました。

ここでサポートメンバーの紹介をいたします。

- ・竹原 清乃 福井県 (株)フレンドスポーツ…昨年の金沢大会で見事な司会を披露してくれました。
 - ・甲 さきこ 石川県 (株)かぶとやスポーツ…リーダーシップにおいて抜群の力量の持ち主です。
 - ・三宅 直子 岡山県 (株)栄光スポーツ……若さと行動力、責任感のある女性経営者です。
- 以上、私を含め 4 名で今後活動してまいります。

来年は近畿ブロックの和歌山県で全国大会が開催される予定です。

なかなか都合をつけるのが難しい方もたくさんいらっしゃるでしょう、でもどこかで頑張ってお自分にご褒美として参加しませんか？きっと男性の方も理解してくれると思います。

JSERA に入っているからこんな出逢いがあり仲間を増やしていけることでしょう！

来年も皆様方にお会いできること楽しみにして毎日の仕事をこなしていこうと思います。

有難うございました！！



2015 全国大会・レディスフォーラムに参加して

レディスフォーラムサポートメンバー

K . T

10月22日に開催の“全国大会” & “レディスフォーラム”に参加させていただいた。4年前、北海道の一女性のつぶやきが発端となって誕生した“レディスフォーラム”が、ようやくJSERAに認知され、形態が整い始めた。何のご縁か、今回より女性部会長をサポートする三人の一人に選ばれる事となった。それはさておき、今回の大会は心に深く残る大会となった。“レディスフォーラム”に与えられた時間は45分と30分の2回に分けられ、(結果功を奏したのだが…)我々4人は頭をかかえてしまった。フォーラムと謳ってこの時間?しかし為せば成る、反省も多いがしっかり意見交換が出来た。本大会の講演の一つはTVショッピングでお馴染みジャパネットたかたの社長を勇退されたばかりの高田 明氏で、講演中沢山の気づきがあったが、中でも高田氏自身の生き方「今を生きる」は大いに鼓舞された。過去を振り返ればトラウマ、未来を考えれば不安… だから「今をとりあえず受け入れよう。そして目の前の事に懸命に努力すれば必ず課題が見えてくる。キーワードが浮かんだら実行してみよう… さす

ればいつの間にか成功している。」といった内容だった。氏の、“世阿弥の世界”を盛り込みながらの話に、そう簡単ではないことを重々承知しているながらも引き込まれ血がたぎった。“レディスフォーラム”の目的は自身の成長を計るため、また一年間頑張るための自己の意識改革をするためのものだと思う。自分が変われば店の皆が変わる。しかし悲しきかな365日同じ気持ちではいられない。諸事情を目の前に気持ちは萎え、元の頑張れない自分が顔をのぞかせる。だから年に一度仲間の声を聞きに行くのだ。一生懸命に“今”を頑張っている仲間のなんと多いことか… 水道水を満たしたたらいの中に一滴の活性力の強い水をたらせばたらいの水は全て活性力の強い水に変わると聞く…どのお店でも奥さん方は多くの責任を両肩に背負って日々奮闘されていると思うが、奥さんの意識が変われば社長も社員も変わる。キット!必ず!

うまく伝えきれない事がはがゆく申し訳ないが、今回出席させていただいて私なりの意識改革が出来たように思っている。



国体を開催して

和歌山県スポーツ用品小売協同組合

理事長 瀧本 明生

天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、東日本大震災復興支援第70回国民体育大会「紀の国わかやま国体」、並びに皇太子様の御臨席を仰ぎ、第15回全国障害者スポーツ大会「紀の国わかやま大会」を盛大に開催できなお大成功の内に終了できましたことは、私達「和歌山県スポーツ用品小売協同組合」組合員の大きな誇りとなりました。

昭和46年の第26回大会以来、44年ぶりとなる和歌山での開催に際し、全国各地からこの世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」など歴史と文化が息づく和歌山県にお越しいただきました多くの選手・監督・役員・障害者スポーツ大会におけますサポーターの方々、並びに応援の皆様から心から感謝申し上げます。

平成21年春頃より各競技会を担当する会場地市町村では「躍動と歓喜、そして絆」のスローガンのもと準備が始まりました。

私達和歌山県組合は平成24年2月の全国理事長会より国体に関する情報収集並びに勉強を開始いたしました。

平成23年度和歌山県組合定時総会（24年6月）におきまして和歌山国体に対する対応の検討をいたしました。最初の国体への意識を持ってもらえたと思います。

この年の9月岐阜清流国体開会式の売店と高山市でのバスケット競技会場の視察に2名派遣しました。開会式会場では岐阜県組合の澤田理事長様に大変お世話になりました。初めての視察でしたのでテント村の規模の大きさにびっくりいたしま

した。この後東京大会障害者スポーツ大会の開会式に1名、長崎大会1泊2日で3名と視察を重ねました。長崎の帰り和歌山国体売店運営が不安になってきましたねという風なお話が出た様に思います。

平成24年6月の定時総会にて組合が和歌山県実行委員が許可するオフィシャルサプライヤー資格を取るに際し予算100万円を計上いたしました。情報によりますと千葉国体迄は100万円程度だったのが山口国体より300万円と金額アップになっているとのことです。和歌山県組合は組合員20名と小規模組合で財務的にも苦しい為100万円で交渉することになりました。県実行委員会の人事が平成25年3月末に行われるとのことで平成25年4月に入って和歌山県組合からの提示をさせていただきました。増額依頼の相談もございましたが110万円程度で決着いたしました。

その後各市町村実行委員会様への組合としてのご挨拶並びに売店テント申請依頼のお話等をして県下を廻りました。平成26年のプレ大会へ向かっての備品調達のお仕事が組合員の所に入ってきたと思います。

平成27年1月に入って組合売店運営の組織チャートの作製並びに各競技会場テントの組合員の割り振りの案を作り、組合員全員出席の臨時総会を開催して検討をいたしました。

和歌山組合の国体実行委員長にパズルの様な割り振り表を作ってください感謝します。

とうとう本番が始まりました。9月6日より9

月13日の間に5競技（前競技）。これは人員に余裕がありましたのでスムーズにこなせました。9月26日開会式より10月6日閉会式の間に43ヶ所の競技会場に売店を出店しました。組合員の余裕はまったく無しで、今思えばよく廻ったなという気持ちです。その後10月24日より10月26日に全国障害者スポーツ大会が開催され4ヶ所の競技会場に売店を出店しお陰様をもちまして全行程を終了いたしました。

最後になりましたがJASPO様、JSEC様、NES様、出店されました各メーカー様に心より感謝申し上げます。



高校総体

インターハイ（近畿ブロック大会）巡り



今年インターハイは近畿ブロックでの開催という事で、和歌山と京都にそれぞれ巡って参りました。7月31日、8月1日の両日でした。和歌山35度、京都38度です。でも両方の組合様も暑さにめげず、水分を十分に取りながら販売に精を出しておられました。平成25年の東海ブロックの全中大会もそうでしたが、いずれも組合員が高齢化しているので熱中症にならないか心配しながらの販売です。巡って見て、又私の経験からなるべく販売員は若い女性中心の方が良いのではと思われれます。アルバイト賃が余分にかかりますが…。

JSERA・日本スポーツ用品協同組合連合会

副理事長 角前博道

NESの商品も少し曲がり角の様に思えます。選手たちの嗜好が、メーカー因りの様に思えます。デサント・ミズノ・アシックス、なかなか好調の様でした。



全中大会

新理事長としての抱負

北海道スポーツ用品小売商組合

副理事長 古内 一枝

長崎県全国大会を担当されました県の皆様、大変お疲れ様でした。3年前の北海道大会での緊張した日々を思い出しました。

長崎での全国大会出席中に全中陸上での担当者としての文を書いて下さいとのこと。日数が経ってしまいましたが、あの日々の感動をお伝えします。

初日、雨が降り風が強めの日のスタートに。台風上陸との予報の中、小雨で雷のおまけもありましたが4日間無事終了いたしました。

全国から集まってくれた若き挑戦者達を北海道札幌市厚別競技場が最高の舞台になり思い出の地となります様にと、Tシャツ・タオル等の売場でおもいきりの笑顔と声かけで、スタッフ一同張り切り切りました。

選手の皆さん、熱き指導者の方々、そして応援にかけつけた父母・祖父母の皆様“ようこそ！北海道、札幌へ”の想いを込めて接客しました。

この日を迎えるにあたり責任者として、やり抜けられるかとの不安もありましたが各店からのお手伝いのスタッフの方々に恵まれ少しでも多くの売上と誤差金はゼロに近くと頑張りました。4日間共にした各メーカーさんとも朝夕の挨拶、「売れてますかー？」の声かけ等、仲間意識が働いて仲良くなり良い機会に恵まれたと感謝です。

全ての競技が無事終了し、全中の反省会を行いました。色々な困難もありましたが全て笑いの中で納得。北海道の組合のチームワークの素晴らしさを実感しました。広い北海道の各競技場を全て見廻りお手伝いをして下さった我々の村住理事長さんのリーダーシップの賜と感謝いたします。

次回北海道は7年後8年後に全中・インターハイの当番だそうです。元気にその日を迎えてお手伝いしたいものです。長崎大会でのジャパネットたかたの高田元社長さんの熱いお話を聴いて、益々その意を強くしました。

岩手県スポーツ用品専門店協同組合

理事長 八森 辰雄

岩手県組合の新理事長となりました、花巻市八森スポーツ(株)の八森辰雄と申します。皆様よろしくお願ひします。

岩手県組合は来年(平成28年)に岩手国体の開催を控えております。実行委員会の会長として、藤澤進氏(盛岡市藤澤体育堂(株)社長)の指揮のもと、実務の分担に入っております。藤澤会長自身2度目の国体業務ということで、前回の若い頃に経験された実績があり、我々にとっては頼りになるリーダーとして組合員の先頭に立ってもらっています。

私は理事長として、それぞれが実務の責任を果たしてもらおうように明快な段取りと、組合の皆が活動しやすいようにバランス取りに専念していきたく思っております。

申し遅れましたが、4年半前の大震災の時は全国のJSERAの皆様にも多大な御支援と励ましをいただきました。感謝の気持ちを皆で忘れぬように国体の事業を終わらせたいと思います。

前回のJSERA長崎全国大会では、長崎県組合の森理事長様、和歌山県組合の瀧本理事長様はじめ、国体事業を終えた皆様方から貴重なアドバイスをいただき大変恐縮しております。森理事長様には、大会前日のお忙しい所時間を取っていただき、色々なお話に感謝しております。

また国体開催を機にこれからの担い手である若い経営者や若い方々に色々経験していただき、今後の組合活動につながるよう若手の登用などを積極的に進めたいと考えております。

皆があつての組合ということをお忘れずに、執行部が一人歩きしないように色々な思いを語り、失敗を恐れず、また余計な批判などせず、皆が対等でチャレンジする組合を作りたいと思います。今後とも全国の皆様の御指導、御指摘をよろしくお願ひ申し上げます。

新理事長としての抱負

宮城県スポーツ用品協同組合

理事長 早川 純一

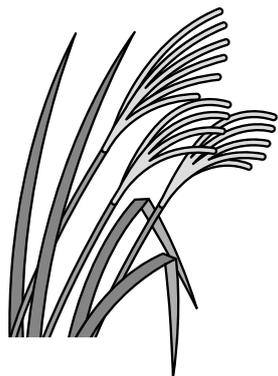
平成 27 年 6 月通常総会に於かれまして、理事長に就任いたしました石巻市の早川です。前理事長松村さんには震災直後に御受け頂いて大変ご苦労なされたかと思えます。その後の私ですから少しは楽かなと考えますが、大震災後の世間は以前にまして厳しい状況になっているようです。後継者問題、消費税、少子化…、考えると終わりがありません。

そこで私たち組合活動の一貫として組合組織の活性化、毎年独自の事業、勉強会、講習会、常時お客様より「一步前へ」と合言葉で、そしてメーカーや問屋の皆様と一致協力して、この厳しい現実と仲良くしたいと考えます。

今は毎日スポーツ大会、スポーツ仲間、そして宮城県全組合員による県内一同介しての販売方法などを模索し全組合員による販売を成功させたいと思っております。

そのためには JSERA の指導、協力が不可欠であります。ぜひいろいろなご指導をお願い申し上げます。

当組合に様々な問題点もございますが、一つずつ解決し、他県の組合様を手本とし勉強していく所存でございます。皆様のご指導ご鞭撻のほど、またご協力をお願い申し上げます。



新理事長としての抱負

福島県運動具商業協同組合

理事長 渡辺 恭一

今年 6 月の総会に於きまして理事長に推薦されました郡山オノヤスポーツ用品(株)の渡辺恭一です。先ずは、東北大震災の際に、全国の同業の皆様には大変お世話になりました。皆様の寄付によりまして、全壊、または半壊の会員に見舞金を送ることができました。また震災でスポーツ用具を無くし、避難して来たクラブチームに、組合よりサッカーボールや野球用品などを寄付させていただきました。放射線量の高い地域では外でスポーツが出来ないので、県の補助金を加え、ミズノさんの協力も得てバスを貸し切り、線量の低い会津でスポーツ教室を開催することも出来ました。本当に有難うございました。現在では一部を除き線量も下がり、ようやく外で運動会等が開催されております。原発の廃炉作業が 40 年以上続くため、まだまだ安心は出来ませんが、組合員の皆様とガンパってまいります。福島県は面積が広く、県の中心である郡山市へ集まるのに片道、車で 1～2 時間かかり遠い会員には大変負担になります。講習会や総会等にどうしたら多数の会員に集まって戴けるか、又組合の活動の元になる資金をどう調達するか、やることは沢山ありますが、少しでも会員の皆様の役に立てるよう努力してまいりたいと思います。





新理事長としての抱負

新潟県スポーツ用品小売商協同組合

理事長 大原 荘一郎

この度、平成27年9月の通常総会に於いて理事長に任命されました大原運動用品株式会社の大原荘一郎でございます。登記上は上記の名前ですが通常は大原スポーツを使っています。祖父は長岡の出身ですが、明治の終わり頃、高田に連隊が来るという事で高田（現上越市）に来て以来、学校教材、カメラ、楽器、スポーツ用品の商いを始め、今はスポーツ用品のみを取扱っております。理事長の大役を仰せつかり、身の引き締まる思いでございますが、前理事長の湊谷茂彦様、前々理事長の伊藤章様を始め組合員の皆様のご指導を賜りながら組合の発展に取り組む所存でございます。さて昨今の社会情勢を見ますと、スポーツ業界を取り巻く環境はますます厳しくなっており、考えられます。ネット販売、大型チェーン店、カタログの電子化、次世代への引きつぎ等々がますます増えていく様に思います。専門店として生き残る為には、何でも屋ではなく、オンリーワン戦略必要だと思います。豊富な情報に基づく接客、修理等々、スポーツ用品以外にも気軽に相談に乗ってあげられる等々、それがインターネットや大型チェーン店には出来ない地域密着型の運動具店のあるべき姿ではないでしょうか？総人口は絶対的に減少して来ますが、学生を中心とするもよし、増々増大するシルバー世代を中心とするもよし、今こそ原点回帰して、お客様目線での品揃えやサービスを実行する事が大切だと思います。これからも新潟県スポーツ用品小売商協同組合へのご指導、ご鞭撻をお願いして私のあいさつとしたいと思っております。これからもよろしくお願い致します。

新理事長としての抱負

兵庫県運動用品商業協同組合

理事長 木戸 博和

本年8月より、本川 和子前理事長よりバトンを引き継ぐことになりました。今後ともよろしくお願い申し上げます。

業界の今後を私なりに少し考えてみました。

少子高齢化が叫ばれる中、スポーツ庁は「体力・運動能力調査」の結果を公表し、子供の反復横とびの体力水準が1985年を上回り、20年東京五輪・パラリンピックを見据える体力向上が鮮明となる一方、ボール投げなどは低下傾向となり、伸びる能力、低迷する能力の二極化となっています。

自治体は運動をよくする子としない子では差があるため、体力向上の取り組みを行っています。また、65歳～69歳男性、70歳～74歳女性の体力は過去最高だったそうです。スポーツ用品販売業界としましても青少年、高齢者に協力が必要かと存じます。

現代、スポーツ小売業界は、ネット販売が大勢を占めようとしています。朝注文すれば夕方に商品を手にすることができる。「物置から出してきて支払は後日（カード利用等）」という販売（アメリカ、中国などでは主流）です。

一方、我々外商以外の小売店は、小物・修理・メンテナンス・追加商品と隙間販売になるかもしれません。

また、最近では、携帯電話（スマートフォン、iPhone）の分割購入、通話料が中学、高校生、両親と一家で4台使用すると3万円近く掛かり、一番スポーツ用品を購入する上記世帯では、出費が重なる状態だと思われますので、協力し合いながら、親切・丁寧な商売をすることが、量販店・ネット販売に対抗できる手段かもしれません。

第17期 第1回理事会報告

日 時：平成27年9月3日（木） 11：00～16：30
場 所：東京スポーツ会館4階 会議室

<報告事項>

1. 理事長報告

- ・〔7月28日～8月20日〕インターハイ
- ・〔8月24日〕アシックス 山根社長 訪問
（武宮副理事長・土赤専務理事同行）
- ・〔8月26日〕販売促進活動の正常化会議 出席
（大阪）
- ・〔9月2日〕橋本聖子議員励ます会 出席
（武宮副理事長・美馬副理事長同行）

<審議事項>

1. 決算・事業報告・事業計画・予算の件

決 算

- ・資料を基に前田理事より説明。

事業報告

各委員会、資料を基に補足・修正をした。

<活性化委員会> 美馬委員長

- ・リオオリンピック終了時まで素案作りに取り組む。
- ・オリンピックマークを付けたポロシャツ・ブルゾン・帽子等を着用できるように、アシックスに交渉中。
- ・愛媛県が法人化に向けて最終段階に入っている。

<共生委員会> 武宮委員長

- ・8月24日アシックス販売(株)山根社長との面談報告
- ・ネット販売は代理店事前報告と販売時期を再確認し連絡を徹底する。
- ・パンフレットについては、ユーザーパンフ作成はするが、代理店へ配布はしない。
- ・スクール用品については、高等学校中心に営業し今後別注品生産はしない。

<広報委員会> 松村委員長

- ・スポーツ産業新報との連携により各月1日号掲載のかわら版を導入。

<事業委員会> 角前委員長

- ・新商品としてスーパートリノを扱うことになり、全国大会で紹介する。
- ・大塚製薬からポカリスエットの販売についてオファーが来ている。

<総務委員会> 土赤専務理事

- ・広報委員会と一緒に取組みスポーツ産業新報のかわら版を導入。
- ・会員増強に向けて知恵を持ち寄ることを進めていく。

事業計画・予算

資料を基に説明があり、経費節減について話

し合われた。

2. 全国大会（定時総会）長崎大会の件

- ・定時総会の役割分担を決めた。
功労者表彰の件
資料の13名を表彰する。
記念品の件
- ・洸琳内外網 菓子鉢（波佐見焼）に決定。
（4点候補より選定）
- ・感謝状贈呈は全員壇上に上がり、全中は北海道、総体は大阪が代表で受け取る。
レディスフォーラムの件
- ・レディスフォーラムを実施するに当たり、今回レディス部会を立ち上げる。
- ・事前アンケートを実施し、立上げ委員4名で当日朝に打ち合せをする。
- ・総会の中で、レディス部会立上げについて報告する。
- ・当日のレディスフォーラムの開催時間・場所については、再検討する。（全員一致で承認）

3. JSERA リポートの件

- ・現在の発行回数は年4回だが、スポーツ産業新報のかわら版との連携を取り3回にする。
 - ・文字の大きさや、カラー等を検討し、より読みやすくなるよう改革する。（全員一致で承認）
- #### 4. スポーツ用器具管理アドバイザーの件
- ・テストケースとして12月1・2日又は12月2・3日に高知県で実施する。
 - ・SGマーク製品を中心に行う。
 - ・主催はJSERA、講習会はJASPO。
 - ・来年は組合員のみ、再来年から一般受講が可能になる。（全員一致で承認）

<協議事項>

1. 「体育の日」ボールを贈ろう事業の件

- ・計画書が出ていない県があるので、各ブロック長から促してもらう。

2. スーパートリノ商品扱いの件

- ・全国大会にて紹介できるように、各県あての案内を作成送付する。
- ・各ブロック大会に於いて商品紹介を(株)シースキイへお願い。

3. その他

- ・17期年間行事日程を決定した。
- ・ゴルフ関連団体（一社）日本ゴルフ場経営者協会からリクルート主催のゴルマジ！20のチラシと矢野経済研究所からのアンケート配布依頼があった。次回リポート発行時に同封する。

第 17 期 JSERA 理事会・役員会 (行事日程)

平成 27 年 10 月

年	月	日	曜日	JSERA 行事	理事会	役員会
27	8			全中 (北海道・東北) インターハイ (近畿)		
	9	2	水	(会計監査)		第 1 回
		3	木			第 1 回
	10	16	水	関東甲信越ブロック大会 (群馬) 草津白根観光ホテル		
		上旬		国体 (和歌山) 体育の日活性化 (各県組合) 「ボールを贈ろう運動」		
		22	木	九州ブロック大会 (長崎) ハウステンボスタワーシティ JSERA (定時総会) 全国大会 (長崎) ハウステンボスホテルヨーロッパ	第 2 回	
	11	12	木	近畿ブロック大会 (大阪) ホテルグランヴィア大阪		
		18	水	中国ブロック大会 (鳥取) ホテルニューオータニ鳥取		
		25	水			第 2 回
		26	木		第 3 回	
	12					
	28	1	6	水	関西新年賀詞交換会	
7			木	東京新年賀詞交換会		
8			金	名古屋新年賀詞交換会		
9			土	北陸 3 県新年賀詞交換会		
2		1	月	JSERA 全国理事長会議 (午後) ニューオーサカホテル	第 4 回	
		2	火	JSEC 連絡会議 (午前) 三大大会伝達会議 卸役員との懇談会 (午後 見本市会場)		
		2・3	火・水	大阪卸見本市 (インテックス大阪)		
3		9	水	正常化対策会議 (大阪)		
4		20	水	正常化対策会議 (東京)		第 3 回
		21	木		第 5 回	
5						
6						
7		6	水			第 4 回
		7	木		第 6 回	
8				全中 (北信越) インターハイ (中国)		
9			(会計監査)		第 1 回	
				第 1 回		
10	上旬		国体 (岩手) 体育の日活性化 (各県組合) 「ボールを贈ろう運動」			
	20	木	JSERA (定時総会) 全国大会 (和歌山) ダイワロイネットホテル和歌山	第 2 回		



オリンピック こぼれ話し(8)

事業委員長 角前博道

ところが81年9月ドイツ(バーデンバーデン)のIOC総会では、予想外の52対27の大差でソウルに決まります。韓国は国を上げて招致活動に力を入れていた様で、ソウルの勝ちも当然で「名古屋の楽勝はありえない。それどころか負ける可能性も十分にある。」と云う話しに耳を傾ける関係者は、皆無に近かったとのこと。どうも負けるべくして負けてしまった様でした。次に日本の都市が名乗りを上げたのが大阪市でした。かなり前から立候補の意思を表示していました。2001年のモスクワでのIOC総会で、決定されるのではないかと期待していた様です。立候補したのは、パリ、イスタンブール、北京、トロント、そして大阪の5都市でした。北京はかなり後からの立候補でしたが、当時の登り坂と云う国力の勢があり「北京が立候補に名乗りを上げたのだから、勝ち目はなさそう。次の機会と伺ったほうがいいのではないかと云う識者の意見が多かったのにもかかわらず、磯村大阪市長は、立候補に踏み切ります。案の定、一回目の投票の結果、北京44票、トロント20票、イスタンブール17票、パリ15票、大阪6票でした。そしてまず最下位の大阪が落されて2回目の投票があり105票の過半数以上の56票を獲得した北京に決まりました。IOC会長がサマランチ氏から、ジャック・ロゲ氏に決まったのは、この開催地決定の後のことでした。この様な次第で、日本における五輪の開催は遠ざかっていましたが、2006年になるとJOCの呼びかけにより、札幌、東京、福岡の3都市が「16年の夏季大会に立候補したい。」との意向を持ちはじめました。最終的には、札幌は、財政上の理由で見合わせますが、東京と福岡はそれぞれ議会の機関決定を経てJOCに名乗りを上げることとなります。そして「開催概要計画書」を提出します。その後各競技団体(日本障害者スポーツ協会を含む)は、それぞれ現地調査を行い、その後JOC評価委員会も両都市を回りJOCとしての報告書をまとめたとのこと。そして06年8月30日都内のホテルで「選定委員会」において選ばれることとなります。昼の1時からでしたが、会場とその周辺は両都市の応援団やら、報道関係者など

でゴッタ返し、熱気に包まれていました。選定委員会は、各種団体30名とJOC理事25名の計55名で、過半数の28票を獲得したところが、国内立候補都市となるわけです。両都市の45分間づつのプレゼンのあと、投票に入り東京33票、福岡22票で、東京が国内立候補都市に選ばれました。「東京楽勝」と云われていただけに、福岡の健闘ぶりが注目された結果でした。

さて2016年の31回大会の開催地を決めるIOC総会は、09年10月2日、デンマークのコペンハーゲンで行われました。名乗り出たのは、マドリード、プラハ、バクー、ドーハ、東京、シカゴ、リオデジャネイロの7都市でした。これら7都市はIOCあてにそれぞれ申請ファイルを提出していましたが、08年のアテネでの理事会で、マドリード、東京、シカゴ、リオデジャネイロの4都市にしぼられました。IOCは立候補ファイルをもとに13名からなる評価委員のメンバーで、シカゴ、東京、リオデジャネイロ、マドリードの順で現地調査をし、その報告書を作成し、各委員に発送したとのこと。それはIOC委員が投票する時の判断資料としてもらう為であります。その結果09年10月2日のコペンでの投票では投票前のプレゼンが現地調査の順で実施されました。IOC委員による投票結果はマドリード28票、リオデジャネイロ26票、東京22票、シカゴ18票で、まずシカゴが落選します。本当はシカゴは本命とも目されていたので意外だったそうです。そして2回目はリオデジャネイロ46票、マドリード29票、東京20票で、東京が落されました。3回目の決選投票は、リオデジャネイロ66票に対してマドリードは32票。

(次号へつづく)

編集後記

真似る!

ラグビーワールドカップも終わり日本の大活躍で話題に盛り上がっていますが老若男女を問わずにわか五郎丸ポーズがはやっています。

我々の生活も初めの一步は他所の真似からはじまったような気がします、そこから日々独自のエキスを加えて店舗のポリシーを造って来たように、今回の長崎大会の研修で商店街のコミニテイからスタートした竹本様、ジャパネットの高田明様から今を一生懸命にすることで将来が生まれることを勉強させて頂き、もう一度真似からリスタートする勇気を頂きました。(Y.M)